

# こども版気候市民会議

## たのしくまなび隊 第2回（自然探検ツアー）



Let's Try!

一色エリアには自然がいっぱい。  
自然の中でも、環境にとって優しい取り組み  
をしているみたいだね。みんなで探してみよう！  
1回目の工作体験で登場した「アレ」もあるよ。  
見つけられるかな？



**Memo** 探検する中で気づいた点や疑問に思ったことをメモしておこう。後でみんなとシェアしてみよう！

疑問・気づいた点 など

その他（自由スペース）

# 自然探検ツアーふりかえりシート



環境にとって優しい取り組みを4つ発見したね！  
それぞれの取り組みについて、どんなところが自然にとって  
優しい取り組みになっているか振り返ってみよう。



## 第1ポイントについて

人に伝えたいこと・疑問に思ったこと

どんな取り組みかまとめてみよう！

## 第2ポイントについて

人に伝えたいこと・疑問に思ったこと

どんな取り組みかまとめてみよう！

## 第3ポイントについて

人に伝えたいこと・疑問に思ったこと

どんな取り組みかまとめてみよう！

## 第4ポイントについて

人に伝えたいこと・疑問に思ったこと

どんな取り組みかまとめてみよう！

氏名

# 自然探検ツアーふりかえりシート

<おうちでトライ!バージョン>



色々体験したことを家族の人や友だちと共有してみよう。  
話し合ったりして、新たな発見などがあれば、シートに  
まとめてみよう。



家族や友だちに伝えたこと・話し合ったことについて書いてみよう。

家族や友だちの意見や話し合っって発見した新たな考えなどを書いてみよう。

## 理解を深めてみよう! (すきま時間に調べてみよう)

Q.地産地消(ちさんちしょう)って何かな?またどんな良いことがあるかな?

Q.農法にはどんな農法があるかな?またそれぞれどんな特徴があるのかな?

Q.大雨による被害が大きくなっているね。レベルアップした雨に負けないように進められているっ取り組みの「流域治水(りゅういきちすい)」って何だろう?

# こども版気候市民会議

たのしくまなび隊 予習(ごみについて考えよう!)

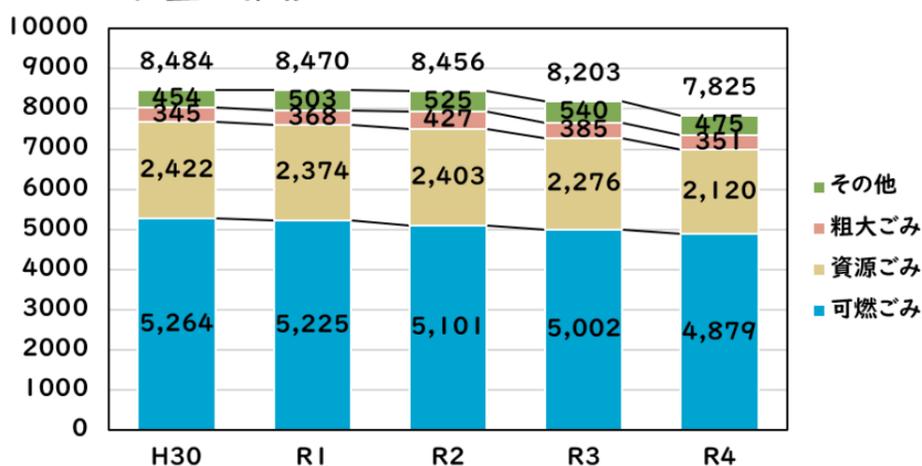


私たちは、生活する中で必ずごみを発生させます。そのため、ごみを出す者としての責任があります。できるだけごみを生まない行動を心がけ、また、ごみとなってしまうものを適正に分別して出すなど、皆さん一人ひとりの行動が、豊かな未来を作っていきます。ここで、ごみについてちょっと考えてみましょう。

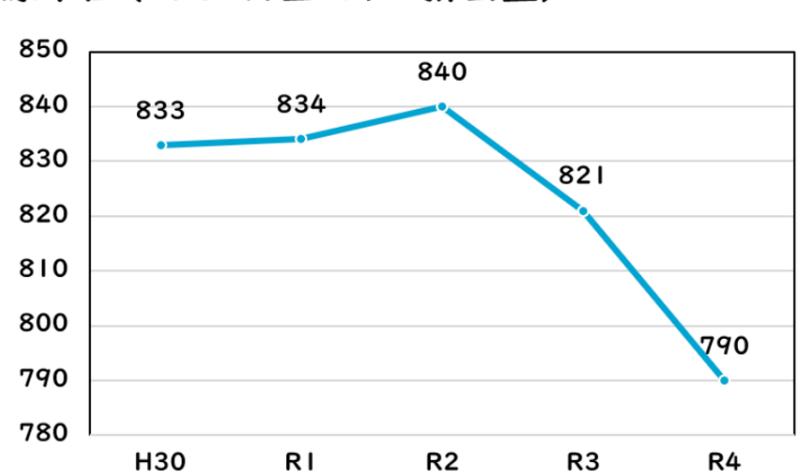
## 廃棄物

令和4年度はごみ回収量が7,825 (t)トンとなり、その内訳は、可燃ごみが約6割(4,879t)、資源ごみが約3割(2,120t)、その他のごみが約1割(826t)となっています。また、1人1日当たりのごみの排出量は790gとなっています。

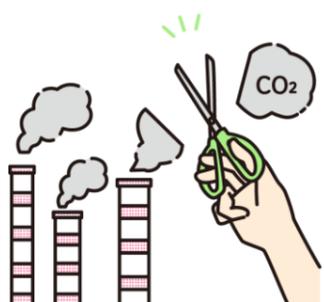
ごみ回収量の推移



原単位(1人1日当たりの排出量)

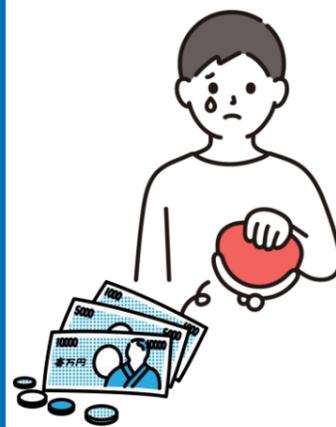


## ごみが増えることによる影響



収集運搬する時の排気ガスや焼却処理する時のCO2の発生量に影響します。CO2の排出は地球温暖化の要因にもなっているため、環境にできるだけCO2を排出させない取り組みが必要です。

### ①CO2の排出などによる環境面



ごみの量に応じて処理や維持・管理するためのコストなどにも影響します。これらのコストは皆さんの税金などから負担されています。また、ごみを排出する際に使用する「指定ごみ袋」は、各家庭で有料で購入しています。ごみの量が増加すると、税金や各家庭の負担など、様々なコストにも大きく影響することになります。

### ②処理・処分などのコスト面

## 可燃ごみ削減

ごみを減らすための方法には何があるでしょうか。ごみの効果的な減量化の方法の一つに「3R(スリーアール)」があります。3Rとは、Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)のことです。

※発生抑制(発生をおさえること)

### Reduce(リデュース)

- ・不要なものは買わない
- ・不要なものはもらわない
- ・詰め替え可能なものを利用する

### Reuse(リユース)

- ・使えるものは繰り返し使用する

### Recycle(リサイクル)

- ・きちんと分別して、資源として再生利用する

この他にこんな「R」もあります。

- ・Refuse(リフューズ・断る)
- ・Repaire(リペア・修理)

# こども版気候市民会議

たのしくまなび隊 予習(ごみについて考えよう!)



Let's Try! 

私たちの暮らしに密接に関わりのあるごみ問題。

私たちの暮らしを支える限りある資源を大切に使い、ごみを減らすよう、身近なところから意識して実践することが大切です。

町では、ごみをより減量化していくために、町指定ごみ袋のデザインに、町民の方向けにごみの減量化につながるようなメッセージを添えて、環境について考えてもらえるようPR活動を行っています。

今回、こども版気候市民会議に参加しているみんなにもぜひ一緒に考えてもらいたいと思います。



## ※参考

### ○現在ごみ袋に使用されているメッセージ

- ・ストップ!それほんとうにごみ?
- ・それほんとうにもやすしかないゴミ??
- ・食品ロスをなくそうよ!
- ・毎日のゴミ出し見直し低燃費

### ○今後のスケジュール

- ・6月7~27日 アイディアを考える
- ・6月28日 ワークショップでアイディアを共有
- ・9月以降 ごみ袋の印刷作業



 第3回目のワークショップまでに考えてみよう。みんなでアイディアを共有するよ。

## ごみの減量化につながるメッセージ案①

## ごみの減量化につながるメッセージ案②